

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月1日

上場会社名 株式会社ストライダーズ
 コード番号 9816
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・経理部長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 URL <https://www.striders.co.jp/>
 (氏名) 早川 良太郎
 (氏名) 前原 宏信 TEL 03(6910)8390

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,940	0.3	46	—	42	20.6	23	23.4
2025年3月期第1四半期	1,935	4.8	3	△55.7	35	15.6	18	74.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 25百万円(29.5%) 2025年3月期第1四半期 19百万円(31.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	2.80	—
2025年3月期第1四半期	2.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	5,729	2,631	45.9	295.51
2025年3月期	5,498	2,463	44.8	303.84

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 2,629百万円 2025年3月期 2,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,000	2.7	100	110.0	90	5.9	63	44.8
								12.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の業績評価は通期ベースで行っており、第2四半期連結累計期間の業績予想は作成しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	9,712,089株	2025年3月期	8,912,089株
2026年3月期1Q	812,999株	2025年3月期	807,499株
2026年3月期1Q	8,231,381株	2025年3月期1Q	8,237,595株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、訪日外国人客数がコロナ禍前の水準を超えるなど、インバウンド需要の回復が続き、観光分野を中心に明るい兆しが見られました。一方で、物価上昇に伴う実質購買力の低下に加え、深刻な人手不足が継続しており、賃上げ圧力やサービス業全体のコスト増につながっております。また、都市部の不動産価格や賃料が高水準で推移する中、利上げ観測を背景とした借入コスト上昇や設備投資の先送りなど、先行きへの警戒感も広がっており、回復と制約が交錯する中で不透明感の残る経済環境が続いております。このような経済状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）では、こうした足元のマクロ経済環境に注視しつつ、日本とアジアをつなぐゲートウェイとしての役割を担うという経営方針の下、変化に対応できる会社体制の再構築を実施し、成長を持続可能なものとするべく、組織体制・業務プロセスの両面から中長期的な基盤強化を進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高1,940百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益46百万円（前年同期比1,275.6%増）、経常利益42百万円（前年同期比20.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益23百万円（前年同期比23.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 不動産事業

不動産事業につきましては、株式会社トラストアドバイザーズにおいて、マンションオーナー向けのリーシング・賃貸管理及びマンション建物の受託管理を行なうレジデンス事業、並びにマンションオーナーの購入・売却ニーズに対応する不動産売買事業を、株式会社東京アパートメント保証において、家賃保証事業を営んでおります。レジデンス事業は、前年同期比でサブリース賃貸借契約の賃料水準に大きな変化はありませんでしたが、不動産売買事業は、売上高、粗利ともにほぼ前年同期を上回る実績となりました。また、主力のレジデンス事業に加え、当連結会計年度において家賃保証事業が堅調な成長を見せつつあり、不動産事業の収益性の向上に寄与いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の不動産事業の売上高は、レジデンス事業の空室率の低下を主要因として、1,612百万円（前年同期比2.0%増）となり、営業利益は82百万円（前年同期比62.2%増）となりました。

② ホテル事業

ホテル事業につきましては、現在、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテル、倉敷美観地区エリアで倉敷ロイヤルアートホテルを運営しております。

成田ゲートウェイホテルは、訪日外客数の増加という外部環境の変化を受け、前年同期間と比較して稼働率及び客室平均単価は前年を上回る水準で推移いたしました。加えて団体営業の強化、プライシングの内製化によるレベニューマネジメントにより、収益の改善へと繋げていきました。当連結会計年度においては、前年同期比を上回る売上となり、増収増益となりました。

倉敷ロイヤルアートホテルが所在する岡山県倉敷市では、歴史情緒あふれる美観地区をはじめとした観光資源への注目が再び高まりを見せており、訪日外国人観光客の回復も追い風となっています。特に、2025年の大阪・関西万博を契機とした西日本全体へのインバウンド需要の拡大が見込まれる中、当ホテルでは、アートをテーマにした空間づくりや文化的な体験コンテンツの提供を通じて、国内外の旅行者に対して高付加価値な滞在を提案しております。また、地域事業者との連携を強化し、観光と宿泊の相乗効果による収益機会の拡大にも取り組んでおります。こうした取り組みが奏功し、当連結会計年度においては、前年同期を上回る売上を確保し、増収増益となりました。

こうした両ホテルの業績を合算した結果、セグメント全体では増収増益、当第1四半期連結累計期間のホテル事業の売上高は328百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益は29百万円（前年同期は営業損失46万円）となりました。

③ 投資事業

当社グループの投資事業につきましては、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社において国内投資事業を、STRIDERS GLOBAL INVESTMENT PTE. LTD. において海外投資事業を営んでおります。

当第1四半期連結累計期間においては、世界的に経済や金融市場の先行きに対する不透明感が続くなか、新規投資に関しては慎重な姿勢を維持しつつも、中小企業の事業承継領域や、インバウンド需要の回復を見据えた観光関連事業など、国内における成長余地の高い分野を中心に、着実に情報収集および案件の選定を進めてまいりました。また国内を始め、南・東南アジア、欧州といった地域のスタートアップ投資、とりわけアグリテック、ヘルステックおよびエンターテインメントといった領域に注目してまいりました。

M&Aグローバル・パートナーズ株式会社においては、2025年6月16日に完了した第三者割当増資において取得した資金を用い、地方の観光地にヴィラ形式の宿泊施設の建設・運営を行う新規事業へ投資を進めております。STRIDERS GLOBAL INVESTMENT PTE. LTD. においては、シンガポールを拠点にこれまでの投資を基盤としたファンド組成を進行させております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の投資事業の売上高は計上されております（前年同四半期も売上高は計上されております）。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,904百万円となり、前連結会計年度末に比べ407百万円増加しました。これは主に現金及び預金が376百万円、短期貸付金が150百万円増加した一方で、棚卸資産が43百万円、売掛金が26百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は1,824百万円となり、前連結会計年度末に比べ176百万円減少しました。これは主に長期貸付金が150百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は5,729百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は978百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円減少しました。これは主に未払費用が11百万円、未払金が10百万円増加した一方で、未払法人税等が25百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は2,120百万円となり、前連結会計年度末に比べ129百万円増加しました。これは主に長期借入金が135百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は3,098百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,631百万円となり、前連結会計年度末に比べ167百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益23百万円を計上した一方で、自己株式の取得1百万円を実施したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、45.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月15日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,142,423	2,518,816
売掛金	151,650	124,921
有価証券	160	220
営業投資有価証券	234,196	227,826
棚卸資産	67,977	24,857
短期貸付金	750,500	900,500
その他	154,873	111,152
貸倒引当金	△4,528	△3,459
流動資産合計	3,497,253	3,904,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	877,289	868,892
土地	515,733	515,733
その他（純額）	102,101	97,864
有形固定資産合計	1,495,123	1,482,489
無形固定資産		
のれん	75,130	73,099
その他	12,935	11,818
無形固定資産合計	88,065	84,917
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
関係会社株式	55,249	49,616
長期貸付金	157,700	7,642
繰延税金資産	17,235	17,212
その他	182,605	178,275
貸倒引当金	△4,696	△5,309
投資その他の資産合計	418,094	257,437
固定資産合計	2,001,283	1,824,845
資産合計	5,498,536	5,729,680

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	64,675	54,069
1年内返済予定の長期借入金	274,092	270,552
未払費用	106,787	118,594
契約負債	259,553	262,805
未払金	72,954	83,227
未払法人税等	47,478	22,468
賞与引当金	23,549	13,467
預り金	98,077	103,363
その他	96,808	49,506
流動負債合計	1,043,975	978,055
固定負債		
長期借入金	1,684,772	1,820,511
長期預り敷金保証金	110,522	108,274
繰延税金負債	139,630	138,208
その他	55,849	53,532
固定負債合計	1,990,774	2,120,527
負債合計	3,034,750	3,098,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,585,938	1,677,938
資本剰余金	109,730	201,730
利益剰余金	968,233	950,790
自己株式	△226,615	△227,821
株主資本合計	2,437,287	2,602,638
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	25,212	27,159
その他の包括利益累計額合計	25,212	27,159
新株予約権	1,200	1,200
非支配株主持分	86	99
純資産合計	2,463,786	2,631,098
負債純資産合計	5,498,536	5,729,680

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,935,071	1,940,752
売上原価	1,440,720	1,391,187
売上総利益	494,351	549,564
販売費及び一般管理費	490,960	502,917
営業利益	3,390	46,646
営業外収益		
受取利息	1,813	5,160
受取手数料	12,785	9,525
為替差益	19,917	—
持分法による投資利益	138	1,115
その他	1,422	569
営業外収益合計	36,078	16,371
営業外費用		
支払利息	3,485	6,316
社債利息	29	—
為替差損	—	13,839
その他	471	63
営業外費用合計	3,986	20,219
経常利益	35,482	42,798
特別損失		
固定資産除却損	—	51
特別損失合計	—	51
税金等調整前四半期純利益	35,482	42,746
法人税、住民税及び事業税	17,572	21,052
法人税等調整額	△1,399	△1,399
法人税等合計	16,173	19,653
四半期純利益	19,309	23,092
非支配株主に帰属する四半期純利益	605	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,704	23,080

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	19,309	23,092
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	689	—
為替換算調整勘定	△675	1,947
持分法適用会社に対する持分相当額	6	—
その他の包括利益合計	20	1,947
四半期包括利益	19,330	25,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,725	25,027
非支配株主に係る四半期包括利益	605	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月30日開催の取締役会決議に基づき、2025年6月16日付で第三者割当による新株式発行を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ92,000千円増加いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,677,938千円、資本剰余金が201,730千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	ホテル事業	投資事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	444,980	282,101	—	727,081	72,658	799,739	—	799,739
その他の収益(注) 4	1,135,332	—	—	1,135,332	—	1,135,332	—	1,135,332
外部顧客への売上高	1,580,312	282,101	—	1,862,413	72,658	1,935,071	—	1,935,071
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	683	—	683	—	683	△683	—
計	1,580,312	282,784	—	1,863,097	72,658	1,935,755	△683	1,935,071
セグメント利益又は損失(△)	50,732	△466	△5,273	44,992	5,493	50,486	△47,095	3,390

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、I T関連事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△47,095千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号2007年3月30日)に基づく賃貸収入が含まれています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	ホテル事業	投資事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	514,522	327,923	—	842,445	600	843,045	—	843,045
その他の収益(注) 4	1,097,706	—	—	1,097,706	—	1,097,706	—	1,097,706
外部顧客への売上高	1,612,228	327,923	—	1,940,152	600	1,940,752	—	1,940,752
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	141	—	141	—	141	△141	—
計	1,612,228	328,065	—	1,940,293	600	1,940,893	△141	1,940,752
セグメント利益又は損失(△)	82,306	29,603	△5,707	106,202	600	106,802	△60,156	46,646

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特許の先行技術調査事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△60,156千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号2007年3月30日)に基づく賃貸収入が含まれています。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	25,008千円	25,761千円
のれんの償却額	2,030	2,030

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。